

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	資源循環課担当課長	谷川 克也
環境-05 ごみ収集事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	資源循環課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	環境センター
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 平成26年度に実施した事業の概要

資源物やごみについて収集・運搬を民間委託により実施した。家庭系ごみの有料化の全市実施に向けて取り組んだ。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	647,266	決算値(千円)	546,589	/
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	132,450	その他	43,752	
	一般財源	514,816	一般財源	502,837	
	人員配置数	3.0	人員配置数	7.0	
事業経費運営	人件費(千円)	23,795	人件費(千円)	55,673	/
	総事業費(千円)	671,061	総事業費(千円)	602,262	
	市民1人当りの経費(円)	3,786	市民1人当りの経費(円)	3,394	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	平成27年4月1日からの有料化実施が円滑に行われるためには、市民一人一人への十分な周知が必要。
課題解決のために行った平成26年度の取組	有料化の周知として、広報掲載、有料化特集号・収集カレンダー・パンフレットの全戸配布、自治町内会回覧、説明会の開催、ごみ減量通信・無料アプリへの掲載、本庁舎及びびきらら鎌倉設置のモニターでの映像放映、JR等市内にある駅や大型店舗でのポスター掲示、普及啓発補助員によるクリーンステーションでの周知やアパート等へのポスティングを行った。
未解決の課題 新たな課題	

- 解決
- 一部解決
- 未解決

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している	
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー	自治町内会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	有料化の実施により、ごみを削減していく。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	有料化を円滑に実施するために、普及啓発補助員の採用や、制度安定までを見込んだ有料袋作成の経費等が制度開始当初に見込まれるため。有料化実施の経費は、有料化した手数料から充てる。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評	ごみ収集事業は、適切に行われており、有効である。 なお、受益者負担については、平成27年度から家庭系ごみ有料化として実施していく予定である。
----	---

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	1人当たりのごみ排出量(平成25年度 ※国報告数値)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	1017g	894g	828g	903g	1031g	947g	1057g	920g	976g
比較事項	リサイクル率(平成25年度 ※国報告数値)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	48.4%	30.3%	22.1%	23.8%	24.0%	33.7%	36.0%	28.2%	42.5%
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	人口1人当たりのごみ排出量は県内では5番目に多くなっているが、リサイクル率は高く、48.4%は県内トップである。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	ごみの焼却量の削減						単位	トン	指標の傾向	↓	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	達成率は目標値/実績値とした			
平成26年度末に今泉クリーンセンターが焼却を停止したため、焼却量の削減は安定的で着実なごみ処理体制の構築に必要である。	目標値	30,721	29,923								
	実績値	37,284									
	達成率	82.4%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---